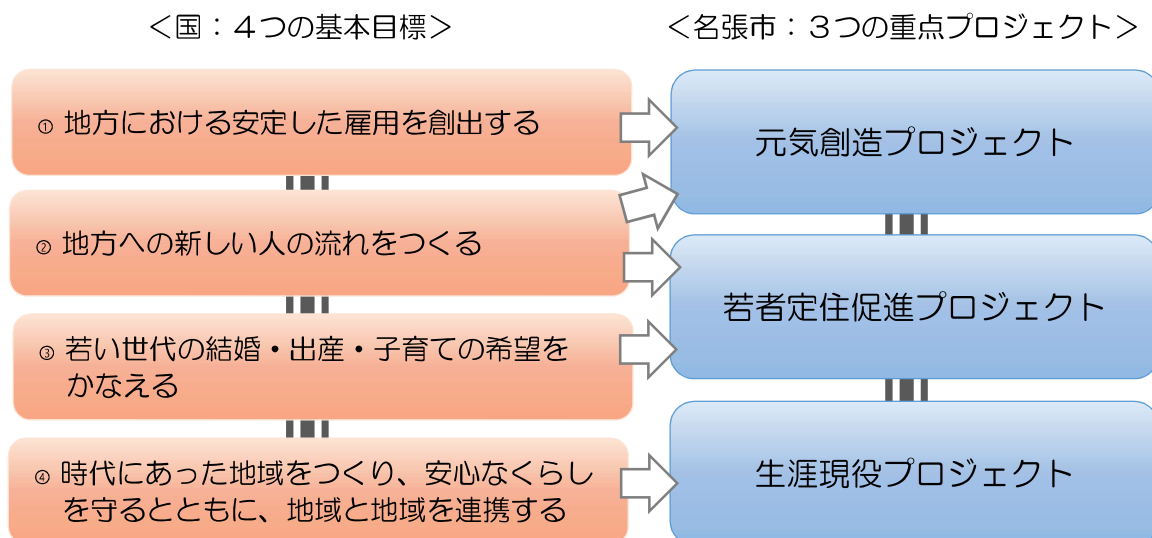


Ⅲ. 今後の施策の方向

1. 国の「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」との関係

国は、日本の人口の現状と将来の姿を示した「長期ビジョン」を踏まえ、「総合戦略」において4つの基本目標を設定しています。

本市においても、国が設定する4つの基本目標との連動を図りながら、3つのプロジェクトを進めていきます。



2. 3つの重点プロジェクト

人口減少・超高齢時代に立ち向かい、地域の活力を創生していくことが、本市が未来に向けて躍進するために取り組まなければならない大きな課題であると認識し、3つのプロジェクトを今後の施策の柱として位置付け、重要業績評価指標(KPI)(★)を設定する中で、その課題解決に向けた施策を展開していきます。

特に、本戦略においては、「定住人口における転出抑制や転入促進」、また、「交流人口の増加」の効果が期待できる取組を重点的に進めていくこととします。

(★)重要業績評価指標(KPI):Key Performance Indicator の略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標をいう。なお、本戦略内の重要業績評価指標(KPI)の基準値は、平成27年5月中旬時点での直近の値を設定し、目標値は、計画期間終了年度の平成31年度を最終期限とし、総合計画や個別事業計画で設定する目標値・目標年度を加味し、設定しています。

(1) 元気創造プロジェクト

＜基本目標＞		
<p>新たな産業や雇用の創出により、地域経済の活性化を目指した取組を推進するとともに、地域の元気を支え、将来を担う人材の育成に取り組みます。そして、市民とひとつになって様々な取組を続ける名張の元気と活力を全国に発信し、人や企業から選ばれる、活気に満ちたまちの実現を目指した取組を進めます。</p>		
数値目標	基準値(年度)	目標値(目標年度)
働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う割合	26.6% (H25)	31.0% (H30)

＜基本的な方向＞
<ul style="list-style-type: none"> ○ 就業機会の確保と雇用の創出 ○ 地域産業を担う人材の育成 ○ 地域産品、地域資源を活用した“名張ブランド”の創出 ○ 自然・食・歴史・文化などを活用した観光戦略の推進 ○ シティプロモーションの展開

＜具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)＞

① なばり元気のもとづくり ～人材を磨き、地域資源を生かし、もの・仕事をつくり、名張を元気にする～

具体的な施策・事業
<p>(ア) 地域産品・地域資源を活用した新商品の開発や名張ブランド製品の販路拡大、就業機会の確保など雇用創出と地域経済の活性化</p> <p>(イ) 民産学官の連携による事業者の多角経営や経営革新の促進等による地場産業活性化</p> <p>(ウ) 農業の「多彩な担い手」づくりをはじめ、若者たちの起業の場づくり、退職者等の専門性を生かした小規模事業の展開</p> <p>(エ) 地域農業の未来を描く「人・農地プラン」の策定促進、農林業の6次産業化、「農」が持つ機能を生かした他分野（環境・福祉・教育等）との連携</p>
<p>＜施策を推進する主な事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地場産業雇用促進・人材育成事業 ・ 地場産業振興事業 ・ 農業経営基盤強化資金利子補給金事業 ・ 農地集積協力金交付事業 ・ 人・農地問題解決推進事業 ・ 隠(なばり)の農産物を活用した起業・創業支援事業 など ・ 実践型地域雇用創造事業 ・ 経営体育成支援事業 ・ 青年就農給付金事業 ・ 中山間地域等直接支払事業 ・ 障害者アグリ雇用推進事業

重要業績評価指標 (KPI)	基準値(年度)	目標値(目標年度)
実践型地域雇用創造事業活用による雇用創出件数	73 件 (H26)	延べ 195 件 (H28)
新商品・新技術の開発研究件数	10 件 (H26)	延べ 32 件 (H31)
創業相談件数	22 件 (H26)	延べ 340 件 (H30)
認定農業者数	51 人 (H26)	延べ 265 人 (H30)